

SAAJ東北支部 支部設立10周年記念誌

平成 26 年（2014 年） 2 月 20 日

日本システム監査人協会（S A A J） 東北支部

— 目 次 —

1. ご挨拶	0 1
(現)支部長	横倉 正教
初代支部長	鈴木 実
二代目支部長	高橋 典子
2. 10周年に寄せて	0 5
前会長	沼野 伸生
事務局	斎藤 由起子
3. 活動記録と思い出	0 7
平成15年事業 (2003)	
	(設立総会『第1号議案 設立趣意』)
平成16年事業 (2004)	
	(「S A A J 入会の思い出」 No.1347 横倉正教)
平成17年事業 (2005)	
	(「支部活動で得たもの」 No.1471 舘田あゆみ)
平成18年事業 (2006)	
	(「システム監査人協会東北支部設立で思うこと」 No.1241 田口三朗)
平成19年事業 (2007)	
	(「これまでの支部活動について思うこと」 No.1134 高橋壮太)
平成20年事業 (2008)	
	(「東北支部の活動にふれて」 九州支部 No.693 福田啓二)
	(「儲かるためのシステム監査」を普及させよう!」 No.1600 佐藤雅英)
平成21年事業 (2009)	
	(「システム監査技術者の効能」 No.1509 櫻谷昭慶)
平成22年事業 (2010)	
	(「S A A J 東北支部に参加して」 No.1321 小野寺司)
平成23年事業 (2011)	
平成24年事業 (2012)	
	(「戦略は細部に宿る ～似て非なるものの見分け方が重要～」
	CSA・IFRS コンサルタント 近畿支部 田淵隆明)
平成25年事業 (2013)	
	(「10年の歳月」 No.1262 佐藤賢一)

— 目 次 —

4. 資料	37
東北支部会則	



定善如来 五重塔

ご 挨拶

(1) 支部設立10周年を迎えて

支部長 横倉 正教

S A A J 東北支部は平成16年6月28日に設立され、今年で10周年を迎えることができました。

これも、会員や関係者のご支援のおかげであり、感謝申し上げます。

今後とも、東北支部へのご協力をお願い申し上げます。

これまでも振り返って見ると、I C T環境が大きく変化してきていると感じられます。特に、ハードウェアの性能向上に伴い、通信・ネットワークの発展が著しくなっています。スマートフォンやタブレットといった携帯端末も普及してきています。そして、システムも、汎用&端末からサーバ&クライアントへ、情報通信回線も専用線からWWWへ、さらに自社独自システム（オーダーメイドシステム）からクラウド・S a a S等へと大きく変化してきています。

また、ネットワークは、既に、重要なライフラインの1つとして認識されてきています。そのネットワークを支えるものが情報通信システムです。情報通信システムがいつでも使えることが当たり前の世の中になってきています。

このような環境変化の中で、システムをより安心して使うためには、システムが目的に合わせて、効率良く、きちんと構築され、いつでも、正確に、きちんと運用されていることが必要であり、これらをチェックするのが「システム監査」だと思います。

これからは、特に人々の生命や財産に関係するシステムを構築する際や、運用・保守する場合には、医療・建築・食品衛生等と同じように規則やルールが必要となるのではないのでしょうか。そこには、「システム監査人」が登場してくるものと思います。

私たち「システム監査人」は、監査人としての自己のレベル向上・スキルアップとシステム監査の普及に努め、誰でも安心してシステムを利用できるように、住みよい社会作りに貢献できるようにしたいものです。

(2) 支部設立10周年を迎えて

初代支部長 鈴木 実 (支部顧問)

○支部設立の背景 東北支部は、日本システム監査人協会（S A A J）の東北地方会員に、月例会情報回付、会員相互間の情報交換等によりシステム監査に関する知識・能力向上を図るために2003年6月に発足しました。既に、全国に5支部（中部、近畿、中四国、九州支部、北海道支部）が設立され活発な活動を行っていました。2002年6月の「公認システム監査人認定制度」の発足とともに、東北6県の会員が支部設立要件の10名を越えました。そこで、副会長兼事例研座長であった私と東北地方の高橋典子氏はじめ有志の方とともに、東北支部設立委員会を発足、会員17名で東北支部を設立いたしました。

○活動の状況 支部設立以来、本部の設立目的に沿って具体的には以下の様な活動計画を策定して、運営してきました。

(1) システム監査の普及と啓蒙活動

- ①総会及び2ヶ月毎の例会開催にてシステム監査の普及と啓蒙活動の計画と実行
- ②地方IT関連機関とのタイアップによるシステム監査普及活動の実施
 - ・2004年からITCみやぎと合同ワークショップの開催、その後アナリスト協会(現JISTA)とも連携

(2) システム監査能力向上のための諸活動

- ①本部のシステム監査セミナーの支部開催
 - ・システム監査実践セミナー開催（仙台市2003年11月、2006年7月）
- ②本部のシステム監査普及サービスへの参加（2005年7月～12月実施）
 - ・2005年福島県内の自治体のシステム監査への参加
（支部長（自治体との窓口）及び監査メンバー3名監査人として参加）
- ③総会・例会時の講演・勉強会開催
 - ・本部月例会の講演資料のビデオ視聴、月例会講演資料による勉強会
 - ・支部例会における会員提案の研究テーマの講義と意見交換
 - ・北海道支部との合同研究会(2007年)
 - ・支部総会における九州支部、北海道支部、北信越支部会員による講演

(3) 会員増強のための関係団体との連携

- ・ITCみやぎ、アナリスト協会（現JISTA）等

(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

以上、設立から5年間の支部の活動について振り返ってみました。上記のような活動を続けてきましたが、2008年以降のリーマンショックによる景気下降により、システム監査の普及も失速の感が否めません。また、内部統制のIT統制対応に伴うシステム監査の普及を期待しましたが、残念ながら期待とおりのシステム監査の普及には至っていません。

しかしながら、企業統治の面から、企業リスク、特に情報システムに係わるリスクは、情報化社会の発展と共に、ますます拡大しており、その評価(監査)のニーズは増大こそすれ縮小することはありません。最近、アベノミックスによる景気回復が期待されています。新技術による情報化の発展とともに、企業リスクを重視したシステム監査のニーズが高まることが期待できます。東北支部としても、企業・自治体のシステム監査のニーズに応えられるように、更なるシステム監査能力の向上を図っていきたいと思います。



(3) 支部設立10周年を迎えて

二代目支部長 高橋 典子

昨年、北信越支部が10周年という話をお聞きし、同じ日に誕生した東北支部も10年になったという事に気づきました。

思い起こせば、SAAJとの出会いは、会社でISO9001を推進する部署に異動になり、監査を勉強するため、2002年11月に幕張OVTAにてシステム監査実践セミナーに参加したことが始まりです。

セミナー初日の懇親会で東北に支部が無いというお話を聞き、「東北に支部を設立するならお手伝いします」とお酒の勢いもあって軽いノリで皆さんにお話しました。

しばらくして、鈴木実さん（当時副会長）から突然会社にかかってきました。

「東北支部を設立するからぜひ手伝ってほしい」という内容で、支部役員として理事の就任も打診され、非常に驚いた事を昨日の事の様に思い出します。

2003年2月に理事に就任させて頂き、2003年6月28日に東北支部を設立し、鈴木実支部長のもと、副支部長兼会計として事務局を担当いたしました。

東北支部は東北6県をテリトリとし、青森1名、岩手1名、宮城7名、山形4名、福島4名の計17名でスタートしました。仙台（宮城）を中心とした福島、山形の東北南3県を主体とし、ITコーディネータ宮城会やシステムアナリスト協会（現日本ITストラテジスト協会）東北支部と連携したワークショップを毎年開催する等の活動の成果もあり、会員数も30名を超えました。

2011年3月11日の東日本大震災で東北支部の活動自体が出来なくなりましたが、支部の皆さんのおかげで活動も再開し、現在に至ります。

私事ですが2012年4月の会社合併に伴い東京に転勤になり、東北での活動が難しくなったため、2012年12月で東北支部長を退かせて頂きました。東北支部の副支部長、支部長として、皆さんに支えられながら9年半の間、無事に活動ができたことは本当に幸せでした。

数年後にはまた仙台に戻りますので、その際にはまた東北支部に参加させて下さい。東北支部の皆様を始め、協会本部や他の支部の方々にご支援ご指導を賜り、感謝の言葉につきます。皆さん、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼をさせていただきます。

今後の東北支部の更なる発展を祈念し、結びの言葉とさせていただきます。

2014/02/14

10周年に寄せて

(1) 東北支部創設10周年記念誌発行に寄せて

特定非営利活動法人日本システム監査人協会
前会長 沼野伸生

東北支部横倉支部長はじめメンバーの皆様、東北支部創設10周年、おめでとうございます。支部創設10周年に当たり、日頃の東北支部の充実した活動に改めて敬意を表したいと思います。

さて、情報社会の進展によって、今日の仕事は情報システム無しではあり得ません。一方、世の中ではその仕事を対象にいろいろな監査が実施されています。例えば会計監査、業務監査、個人情報保護監査、環境監査……。これらの監査は監査対象や監査人の見る視点は異なりますが、情報システムの基盤の上で行われている仕事（業務・ビジネス）の在りようをその対象とするもので、どの監査においてもその監査対象を支える情報システムにも目を向けなければならないことは明らかです。つまりシステム監査の、監査の中での役割（重要性）は今後も益々高まっていくということです。

東北は東日本大震災の影響がまだまだ残っている状況ではありますが、システム監査の社会一般への普及を担うという我々の大きな使命を心に留めて、次の10年に向け引続き活発な支部活動を展開されることを心から祈念しています。



(2) 東北支部設立10周年記念「特別講演会」の開催おめでとうございます。

特定非営利活動法人日本システム監査人協会
事務局 斎藤由紀子

日本システム監査人協会において、事務局を担当しております、斎藤由紀子と申します。昨年の東北支部6月度定例会では、2日間参加させていただきました。東日本大震災直後において、確かな情報が得るまでに1カ月かかったなどの状況をお聞きして、つくづく支援の難しさを感じたことが、今も胸に深く刻まれています。

今年度は横倉支部長からの要請で、東北支部のメーリングリストの活用が開始され、今秋から、東北支部主催セミナー開催案内をホームページで公開することができるようになりました。ようやくプラットフォームに立ったところですので、今後は小中規模のセミナーや研究会などにも、どんどん活用していただきたいと思います。

2014年は「認定NPO法人」認定を目指し、本部の活動も活発になる予定です。東北支部をはじめ、全国組織の協会ということで、地理的規模と、交通の時間的距離という課題をどう乗り越えていくか、どうしたら、リアルでホットな意見交換ができて、会員のライフサイクルの充実はどう寄与していけるかを、会員の皆さんとともに考えて行きたいと思っています。

本部へのご意見・ご相談は、下記のお問い合わせ画面からいつでも承っています。

(<http://www.saa-j.or.jp/toiwase/index.html>)



活 動 記 録 と 思 い 出
(平成 1 5 年～平成 2 5 年)

2003～2013



平成 1 5 年事業

2003

2003年6月28日、未設立であった東北地方の協会活動拠点として東北支部を設立した。

1. 東北支部設立記念講演会&設立総会 6月28日(土)

於：富士通東北システムエンジニアリング(株)

- ・午前は ITC の講演会、午後は SAAJ 総会記念講演会として ITC みやぎと共催形式で実施した。

【講演会】

講演 1 「ITCプロセスガイドラインとCMM」

(西城技術士事務所代表、ITコーディネータ、ISMS主任審査員 西城秀雄氏)

講演 2 「情報システム監査・情報セキュリティ監査に対する日本システム監査人協会の取組み」

(特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長 小野修一氏)

講演 3 「ISMS ver. 2について」

(特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長 鈴木実氏)

講演 4 「最近のシステム監査をめぐる問題について」

(特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長 橘和尚道氏)

【設立総会】 (支部員：9名、オブザーバ：2名：橘和副会長、小野副会長)

(役員：支部長 鈴木実、副支部長 高橋典子、佐藤賢一、監事 田口三郎)

研究会担当 西川正樹、広報担当 斉藤登志勝)

2. 定例研究会

【第1回月例会】 8月13日(土) 於：富士通東北システムエンジニアリング(株)

テーマ：月例会ビデオ鑑賞と意見交換、今後の月例会運営について

【第2回月例会】 11月8日(土) 於：富士通東北システムエンジニアリング(株)

テーマ：みやぎ情報セキュリティマネジメントビジネス研究会参加について

>特別会員での参加ということで進めてきたが、参加せずと決定。

月例会におけるビデオ学習について

>ビデオは自宅学習することとし、月例会では意見交換に決定。

情報セキュリティ総合戦略についての意見交換

3. システム監査実践セミナー 11月23日(土)～11月24(日)

於：ユアテック人材開発センター (仙台市)

- ・講師：システム監査事例研究会より講師3名 (鈴木東北支部長を含む)

事務局として佐藤・高橋副支部長が担当

4. システム監査人面接 11月1日(土) 於：電力ビル (仙台市)

- ・鈴木東北支部長が対応

5. 情報交換

- ・メーリングリストによる支部会員の連絡および情報交換を実施している。

6. 支部会員増強

- ・設立総会時会員17名から会員ゼロの空白地帯であった秋田県から1名、その他の県から合計9名の加入を得た。(支部員26名)

設立総会 『第1号議案 設立趣旨』

日本システム監査人協会東北支部設立趣意

非営利活動法人日本システム監査人協会は、協会の目的を推進するために、関東地区は協会本部の研究会を中心に、地方では、中部、近畿、中国、九州、北海道の各支部が活動している。

残念ながら東北地方の場合は、これまで会員不足で、支部としての活動体制がとれない状況であり、地方が主体となる協会活動が不可能であった。

しかし、平成14年度の公認システム監査人およびシステム監査人補の認定制度の発足により、会員が増加し、支部設立の要件である会員数10名を超えるにいたった。

これを機に、東北支部を設立し、本部の研究会などに参加が厳しい東北地方会員に、月例会などの情報回付、会員相互間の情報交換などにより、システム監査に関する知識・能力の向上を図ることとする。

また、政府のe-Japan構想による住基ネットなどの地方自治体への展開に必要な「システム監査」についての自治体への啓蒙・普及活動もあわせて、東北支部設立の目的とする。

以上の活動目的を実施するために東北支部を設立する。



PRESS RELEASE

平成15年6月30日

特定非営利活動法人日本システム監査人協会東北支部の設立について

6月28日、特定非営利活動法人日本システム監査人協会（会長：宮川 公男、事務局：東京都新宿区西新宿2-7-1新宿第一生命ビル16階1604号室、Tel：03-3348-4415）は、東北支部を設立いたしましたので、お知らせいたします。

情報化社会の発展に伴い、情報システムが社会の重要な基盤となっており、情報システムのあり方が、当該企業や団体のみならず、広く国民の生命・財産を守るうえで大きな影響を及ぼしていることは明らかであります。このため、情報システムには信頼性、安全性、有効性、効率性が強く求められております。

システム監査とは、これらの情報システムに求められる4つの機能を、独立した立場から監査し、当該システムの責任者に報告し、これらの結果を改善提案するなどして、システム責任者の社会的説明責任を果たすことを支援するものです。

日本システム監査人協会は、昭和62年12月にシステム監査技術者試験合格者とシステム監査登録企業を核に、システム監査の啓蒙・普及、システム監査人の育成と研鑽を目的とした任意団体として発足しました。

平成11年6月、産業構造審議会情報化人材対策小委員会より「システム監査技術者試験に合格した上で、一定の有効な実務経験を積んだことを確認するシステム監査人の認定制度の創設及びその継続教育について」の問題提起がありました。

これを踏まえ、当協会は、関連する諸問題について経済産業省と密接に連携し、産業構造審議会答申の期待する民間資格として「公認システム監査人認定制度」の実現を図ることとしました。

その指し手となるため、平成14年2月7日に「特定非営利活動法人日本システム監査人協会」として再発足いたしました。平成15年5月末現在、個人会員882名、法人会員24社の参加の下、中部、近畿、中国、九州、北海道支部として、それぞれの地域でのシステム監査の普及啓蒙活動を進めています。

このたびに設立した東北支部は、協会では6番目として設立した支部で、東北6県（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島）の会員が集まり、下記に示すように、会員相互の交流とシステム監査能力向上はもとより、東北地域におけるシステム監査の普及と啓蒙活動を推進いたします。

- ① システム監査に関する事例・技法等に関する調査・研究
- ② システム監査の必要性・有効性などを広く皆様に啓蒙・広報するための講演会・広報出版等の諸活動
- ③ システム監査普及サービス提供（普及を目的としたシステム監査の実施）
- ④ システム監査実践セミナー（ロールプレイングによるシステム監査演習コース）の開催

(参考)：東北支部会員数(平成15年6月28日現在)

青 森	1 名	宮 城	7 名	合 計 17名
岩 手	1 名	山 形	4 名	
秋 田	0 名	福 島	4 名	

6月28日、仙台市内で開催された東北支部設立総会では、東北支部規定、役員、平成15年行動計画などが審議・承認されました。役員については、以下のとおり決定いたしました。

支 部 長：鈴木 実（特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長）
 副支部長兼会計：高橋 典子（特定非営利活動法人日本システム監査人協会理事）
 副 支 部 長：佐藤 賢一（株式会社IT経営コンサルティング代表取締役）
 監 事：田口 三郎（株）福島県農協電算センター）
 研 究 会 担 当：西川 雅樹（財）仙台市産業振興事業団プロジェクトマネージャ）
 広 報 担 当：齋藤 登志勝

なお、同日、東北支部設立記念講演がITコーディネータ宮城県（ITCみやぎ）と共催、財団法人仙台市産業振興事業団および特定非営利活動法人ITコーディネータ協会の後援のもと、東北地区関係者など約50名が集まり開催されました。講演内容は以下のとおりでした。

1. ITプロセスガイドラインとCMM
講師：西城 秀雄（西城技術士事務所代表、ITコーディネータ、ISMS主任審査員）
2. 情報システム監査・情報セキュリティ監査に対する日本システム監査人協会の取組み
講師：小野 修一（特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長）
3. ISMS ver. 2について
講師：鈴木 実（特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長）
4. 「最近のシステム監査をめぐる問題について」
講師：橋本 尚道（特定非営利活動法人日本システム監査人協会副会長）

(注)「公認システム監査人認定制度」は、システム監査実務に耐えられるシステム監査人を認定し、この公認システム監査人がさらに研鑽することにより、情報化社会の健全な発展に寄与しようとするものです。

公認システム監査人は、システム監査の実務経験や研修を積み、実務に耐えられることを確認したうえで認定されるものです。認定者は、システム監査技術者をはじめ、特別講習を受講した中小企業診断士、公認会計士、技術士、ITコーディネータ、CISA（アメリカに本部をおく情報システム監査人協会の認定取得者）で構成しています。

(平成15年5月末現在 システム監査人認定者253名、システム監査人補191名)

【問合せ先】 特定非営利活動法人日本システム監査人協会 電話：03-3348-4415
 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル16階1604号室
 E-MAIL: info@saa.or.jp ホームページ: http://www.saa.or.jp
 東北支部事務局 例 IT経営コンサルティング 佐藤賢一
 E-MAIL: kenzai@it-management.jp 電話: 022-767-0335

平成 1 6 年事業

2004

1. 平成 1 6 年度東北支部総会 6 月 12 日(土)

於：(株)富士通東北システムエンジニアリング会議室

【議題】第 1 号議案 1 6 年度規約改正 ※次回の総会を 1 月に開催

第 2 号議案 I 平成 1 5 年度活動報告

II 平成 1 6 年度 S A A J 東北支部活動計画 (案)

第 3 号議案 I 平成 1 5 年度収支報告

II 平成 1 6 年度収支計画 (案)

第 4 号議案 平成 1 6 年度役員候補 (案)

(支部長 鈴木 実(留任)、副支部長 高橋典子(留任)、佐藤賢一(留任)、
研究会 高橋壮太(新任)、小野寺司(新任)、広報 佐藤直美(新任)、
監事 田口三郎(留任))

2. I T C みやぎ・S A A J 東北支部ワークショップ 6 月 11 日(金)～12 日(土)

【1 日目】 於：アエル 2 8 階 エル・ソーラ仙台 大研修室

・講演 1 「I T スキル標準 (I T S S) の動向について」

(有限会社エムアイエヌ取締役社長 片倉美三氏)

・講演 2 「宮城県 I T 戦略推進計画 II について」

(宮城県企画部情報政策課長 岡部敦氏)

・講演 3 「仙台市行政情報セキュリティポリシーについて」

(仙台市企画局情報政策部情報企画課長 森谷厚氏)

・講演 4 「建設業界における I T 化事例」

(オリエンタル建設株式会社 情報システム室長 須田勤氏)

・講演 5 「戦略経営ネットワーク協同組合(北海道)の活動状況」

(戦略経営ネットワーク協同組合理事 渡部洋子氏)

【2 日目】 於：(株)富士通東北システムエンジニアリング 会議室

・講演 6 「R F P 入門」

(日本システム監査人協会理事 兼 北海道支部長
クロススペース 渡部洋子氏)

・講演 7 「個人情報保護と組織の役割」

(日本システム監査人協会 北信越支部 梶川明美氏)

・講演 8 「チームメンバを動機付ける実践的アプローチ」

(日本システム監査人協会 原田奈美氏)

・講演 9 「E A について」

(日本システム監査人協会副会長 兼 東北支部長 鈴木実氏)

・講演 10 「新システム監査基準とシステム監査人推薦制度について」

(日本システム監査人協会副会長 橘和尚道氏)

3. 定例研究会

【平成16年7月例会】 7月10日(土) 於：山形テルサ(山形駅西口) 特別会議室

- ・議事：1. 鈴木支部長 挨拶
- 2. システム監査推薦制度についての意見交換
- 3. 今後における研究会のスタイル及びテーマについて
- 4. みやぎ情報セキュリティマネジメントビジネス研究会の活動状況紹介
- 5. ビデオ学習の感想報告

【平成16年9月例会】 9月11日(土) 於：株式会社富士通東北システムズ 第一会議室

- ・議事：1. 鈴木支部長 挨拶・理事会報告
- 2. 次回総会の開催方法について
- 3. 研究会の進め方について
- 4. 意見交換

【平成16年11月例会】 10月30日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 第一会議室

- ・議事：1. 研究会発表：小野寺司氏（東北会員）による「個人情報保護法の概要」
- 2. 鈴木支部長 挨拶・理事会報告
- 3. 会報の支部紹介について
- 4. ホームページについて
- 5. 総会の開催について
- 6. 意見交換

4. 公認システム監査人面接試験 6月12日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 第一会議室

- ・支部として鈴木東北支部長が対応

5. 情報交換

- ・メーリングリストによる支部会員の連絡および情報交換を実施している。

6. 広報宣伝活動

- ・10月26日、仙台市「夢メッセ」で開催された「中小企業IT化推進フェア2004 & e-MIYAGI」フェアにて、SAAJの広報宣伝活動を実施した。

「SAAJ入会の思い出」

No.1347 横倉 正教

私は、電子部品製造会社を退社後、ITコーディネータの資格を取得し、コンサルタントとして活動を始めた頃、コンサルティングに役立たせることができるのではないかとということで、システム監査人のための講習を受講して認定を受けました。

講習では、依然から知り合いであった故清水順夫氏が講師であったこともあり、楽しく受講することができました。清水さんには、JSDGやJSAG(現JISTA)の集まりで、良きアドバイスを受けました。清水さんは2011年1月13日にお亡くなりになりましたが、東北支部のイベントにも来ていただいたり、いつもパワフルで、会うたびにパワーを分けてもらっていたと思います。

SAAJに限らず、このような団体で活動できることは、自分自身の向上を図ることもでき、今後も続けて行きたいと思っています。

(写真は、故清水順夫氏)



平成 1 7 年事業

2005

1. 平成 1 7 年度東北支部総会 1 月 22 日 於：(株) I T 経営コンサルティング 仙台事務所
(出席 9 名、委任状 1 6 名：会員 名)

【講演】 田口三郎氏 (東北会員) による

「福島におけるセキュリティ・個人情報保護法への取り組み」

【議題】 報告事項 1 平成 1 6 年度活動内容

報告事項 2 平成 1 6 年度収支報告

第 1 号議案 平成 1 7 年度活動計画

第 2 号議案 平成 1 7 年度予算計画

第 3 号議案 平成 1 7 年度役員選任

(支部長：鈴木 実 (留任)、

副支部長：高橋典子 (留任)、佐藤賢一 (留任)、

研究会：高橋壮太 (留任)、小野寺司 (留任)、

広報：佐藤直美 (留任)、監事：田口三郎 (留任))

2. I T C みやぎ・S A A J 東北支部ワークショップ 8 月 26 日(金)～27 日(土)

・昨年に引き続き、I T C みやぎ (I T コーディネータみやぎ会) と共催、I T コーディネータ協会後援による「I T C みやぎ・S A A J 東北支部ワークショップ」を開催いたしました。

1 日目は I T C みやぎが、2 日目は S A A J 東北支部が担当いたしました。

【1 日目】 於：仙台市青葉区中央市民センター 第一会議室

・講演 1 「東北 I T 経営応援隊の活動状況について」

(東北経済産業局情報製造産業課係長 中山陽輔氏)

・講演 2 「顧問 I T C 制度について」

(日本 I T イノベーション協会事務局長 吉田徹氏)

・講演 3 「ハーマンモデルの活用事例について」

((株)ハーマン・インターナショナル・ジャパン 代表取締役会長 半沢道夫氏)

・講演 4 「事例紹介」

(I T C 福島 佐藤直美氏、F D K (株) 須藤浩次氏)

・講演 5 「I T コーディネータに期待すること」

(東北大学大学院教授 会計大学院長 安田一彦氏)

【2 日目】 於：仙台市情報・産業プラザ 研修室

・講演 6 「ネットワーク監視・診断ソフトウェア S P i D E R の紹介」

((有)社風土紀代表取締役 北村卓哉氏)

・講演 7 「オフショア開発について」

(日本システム監査人協会 中部支部 原善一郎氏)

・講演 8 「情報セキュリティの動向について」

(クオリティ(株)営業本部 三井智博氏)

・講演 9 「システム監査の事例～監査ポイントと効果～」

(日本システム監査人協会副会長 兼 東北支部長 鈴木実氏)

3. 定例研究会

【平成17年3月例会】 3月5日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 第一会議室

・議事：1. 鈴木支部長 挨拶・総会報告

2. 研究会発表

高橋壮太氏（東北会員）による「討論材料としての最近のシステム開発事例紹介」

【平成17年5月例会】 5月14日(土) 於：コラッセ福島 企画展示室A

・議事：1. 研究会発表

小野寺司氏（東北会員）による「情報漏洩対策ソフトウェアの機能と事例の紹介」

2. 鈴木支部長 挨拶・理事会報告

3. ITCみやぎ・SAAJ東北支部ワークショップ2005の日程及び内容についての検討

【平成17年9月例会】 9月3日(土) 於：山形テルサ（山形駅西口）特別会議室

・議事：1. 研究会発表

市川新悦氏（東北会員）による「レガシーマイグレーションの取組み」

2. 東北支部上期会計報告

3. 個人情報保護についての意見交換

【平成17年11月例会】 11月12日(土) 於：仙台市中央市民センター第一セミナー室（A）

・議事：1. 鈴木支部長 挨拶・理事会報告

2. 研究会発表

佐藤賢一氏（東北会員）による「NPO法人みやぎ情報セキュリティ推進機構（MISEC）の活動状況について」

3. 福島市におけるシステム監査普及サービスについての状況報告

4. 会報の支部紹介について

5. 公認システム監査人・システム監査人補の更新手続きについて

6. 総会の開催について

4. 福島市でのシステム監査普及サービスの実施

・事例研究会にて実施の「システム監査普及サービス」の対象企業体が東北支部地域であったため、事例研担当理事にお願いし、支部員3名が監査グループメンバーに参加させて頂いた。田口氏、西川氏がメンバー、高橋（壮）氏は後方支援メンバーとして参加した。監査報酬が無償で且つハードな作業であったが、メール交換による作業が多かったが、事例研メンバーとのコミュニケーションがスムーズ取ることができ、参加者の経験もさることながら、支部としても評価していただけた。尚、支部員の東京打合せは2回で、交通費は事例研にて対応いただいた。今回のシステム監査の作業は以下のとおりで、支部員が参加した会合はアンダーライン付きの作業である。尚、支部長は、依頼側との仲介としてオブザーバ参加した。

・7月2日(土) 意向確認

調査作業の依頼目的・概要・スケジュール等確認、契約内容協議 他

・7月7日(木) 監査チーム結成

計画立案会議（監査チーム結成、監査計画、役割分担決定）

- ・ 7 月 25 日(月) 予備調査 (第 1 回)
業務システムの見学・稼動状況・設置状況・ヒアリング・資料閲覧、等
- ・ 7 月 31 日(日) 予備調査結果検討
- ・ 8 月 8 日(月) 予備調査 (第 2 回)
業務システムの見学・稼動状況・設置状況・ヒアリング・資料閲覧、等
- ・ 8 月 26 日(金) 本調査 (第 1 回)
委託先センターの見学・稼動状況・設置状況・ヒアリング・資料閲覧、等
- ・ 9 月 19 日(木) 本調査 (第 2 回)
委託先センターへの補充調査依頼、本調査表の回収、等
- ・ 10 月 1 日(日) 資料検討
全調査結果の検討
- ・ 10 月 7 日(金) 中間報告
調査結果の中間報告
- ・ 11 月 11 日(金) 補充調査
情報管理課へのヒアリングと書類閲覧による補充調査
- ・ 11 月 20 日(日) 報告書作成の検討
- ・ 11 月 26 日(土) 事実確認結果検討、報告書作成検討
- ・ 12 月 5 日(月) 監査報告会
調査結果の全体報告

5. 情報交換

- ・ 2 月毎の各県でおこなっている月例会後には懇親会を実施、各県の状況および会員間での情報交換を行った。
- ・ また、メーリングリストによる本部情報、支部会員間の連絡および情報交換を実施した。

6. 広報宣伝活動

- ・ 東北各地の I T C 団体、IT 応援隊組織、みやぎ情報セキュリティマネジメントビジネス研究会などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

「支部活動で得たもの」

No. 1471 館田 あゆみ

東北支部設立 10 周年ということで、自分自身はいつから活動に参加していたのだろうと過去の ML を遡ってみました。すると 2005 年 3 月 20 日付の自身のメールを見つけました。

「高橋典子さんにお誘いいただき、いきなり 3 月の定例会の懇親会だけ参加し、この度入会させていただきました。システム監査の資格は持っていますが、監査業務経験はゼロなので、これから勉強していきたいと思います。これから、どうぞよろしくお願いします。」

それ以来、ずっと初々しい新参メンバーのつもりでいたのですが、10 周年のうち 8 年以上在籍していたとは、我ながらびっくり。すっかり古参でした。個人的には合宿や懇親会などイベントの盛り上げ役が中心で、“システム監査”のイメージから遠いところをフラフラしていましたが、鈴木さんや田口さんの豊富な経験談は非常に勉強になりますし、支部メンバーとのつながりや一体感は、貴重な財産となっています。

平成 1 8 年事業

2006

1. 平成 1 8 年度東北支部総会 1 月 21 日(土)

於：仙台市情報・産業プラザ 特別会議室（アエル）

（出席 1 4 名、委任状 名：会員 名）

【議題】 報告事項 1 平成 1 7 年度事業活動

報告事項 2 平成 1 7 年度収支報告

第 1 号議案 平成 1 8 年度活動計画 （実践セミナーの誘致、会員の増強について）

第 2 号議案 平成 1 8 年度予算計画

第 3 号議案 平成 1 8 年度役員選任

（支部長：鈴木実、副支部長：高橋典子、佐藤賢一、

研究会：小野寺司、舘田あゆみ、高橋壮太、

広報：佐藤直美、 監事：田口三郎）

【講演】 「東北 I T クラスタ・イニシアティブ（T I C）の概要について」

（ ）

2. システム監査実践セミナー in 仙台

7 月 8 日(土)～9 日(日)

於：(株)ユアテック人材開発センター

（宮城県黒川郡富谷町成田九丁目 3 番地 5）

・受講者：8 名（2 グループ）



3. I T C みやぎ・S A A J 東北支部ワークショップ 2 0 0 6

9 月 1 日(金) 於：エル・ソーラ仙台「大研修室」

【1 日目】

・講演 1 「東北産業クラスターと I T 経営について」

（東北経済産業局情報・製造産業課殿）

・講演 2 「今求められる I T コーディネータのコーチングスキル」

（(有)アライブワン代表取締役 後藤美香氏）

・講演 3 「岩手県 C I O 補佐官を終えて」

（(株)日立東日本ソリューションズ公共ソリューション本部

チーフコンサルタント 佐藤義人氏）

・講演 4 「企業変革における情報の役割について」

（東北大学大学院経済学研究科（会計大学院）教授 経営学士 伊東俊彦氏）

・講演 5 「経営目標を中心とした「目標中心型開発スタイル」の提言」

（(株)富士通東北システムズ 大沼哲也氏）

【2日目】

- ・講演6 「韓国 e ガバメントと I T 市場およびセキュリティの動向」
(トライポッドワークス(株)常務取締役 菊地務氏)
- ・講演7 「I S O 20000 認証取得経験から見た I T サービスマネジメント構築のポイント」
(日本ユニシス(株)ビジネス企画室アウトソーシング推進センター
シニアコンサルタント 津村正彦氏)
- ・講演8 「米国 S O X 法対応の内部統制構築事例とシステム監査」
(三井物産(株)鉄鋼製品業務部次長 吉田裕孝氏)
- ・講演9 「情報セキュリティ政策について」
(経済産業省商務情報政策局情報セキュリティ政策室企画係長 成田裕幸氏)

4. 月例会

【H 1 8 年 3 月例会】 3 月 11 日(土) 於：コラッセ福島 3 階 3 0 1 会議室

- ・議事 1. 総会報告 「第 5 期 総会資料」
- ・講演 1. 「内部統制におけるシステム監査」 (支部長 鈴木実氏)

【H 1 8 年 5 月例会】 5 月 13 日(土) 於：N E C ソフトウェア東北 4 F 4 0 3 会議室

- ・議事：1. 支部長挨拶と報告 (鈴木支部長)
 - (1) 7 月の実践セミナー
 - (2) 5/26 東北 IT 産業推進機構で支部長が SOX 法セミナーを実施予定。
 - (3) S O X 法について。(事例研の状況報告など)
- 2. 連絡、報告事項
- 3. 今後の勉強会 (「情報システム監査実践マニュアル」) の進め方について

【H 1 8 年 7 月例会】 7 月 22 日(土) 於：N E C ソフトウェア東北 4 F 4 0 3 会議室

- ・議事 1. 情報交換
 - (1) 公認システム監査人の継続教育に関して
 - (2) J - S O X 法のセミナーの実施に関して
- 2. 月例会での勉強会について
 - (1) 目的：システム監査のスキルの底上げ
 - (2) 実施方法と作業分担決定

【H 1 8 年 1 0 月例会】 10 月 21 日(土) 於：山形テルサ 研修室 A

- ・議題 1. 9 月の合同セミナー報告 (佐藤賢一さん)
- ・勉強会 『情報システム監査実践マニュアル第 2 版ー』勉強会 (○：報告者)
 - ① 1-1 変革する情報社会 (○櫻谷, 木立)
 - ② 1-2 情報システム監査の重要性和概要 (田口, 佐藤 (直), ○田中)

【H 1 8 年 1 2 月例会】 12 月 2 日(土) 於：仙台中央市民センター ミーティング室

- ・勉強会 『情報システム監査実践マニュアル第 2 版ー』勉強会
 - ① 第 3 章 システム監査と他監査との関係 (女性チーム：高橋、舘田)
 - ② 第 4 章 システム監査と関連する諸施策
(三陸チーム：佐藤賢、熊谷、小野寺)

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋副支部長）
- 2. S A A J 設立20周年記念について

5. 公認システム監査人面接 i n 仙台 11月18日(土) 於：仙台市情報・産業プラザ

- ・鈴木支部長が面接員として、佐藤副支部長が会場担当としてサポートした。

6. 情報交換

- ・隔月毎に開催している月例会（東北南部三県幹事持ち回り）後には懇親会を実施して、各県の状況および会員間での情報交換を行った。また、メーリングリストによる本部情報、支部会員間の連絡および情報交換を実施した。

7. 広報宣伝活動

- ・東北各地の I T C 団体、IT 応援隊組織、みやぎ情報セキュリティマネジメントビジネス研究会などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。また、法人部会の依頼を受け、情報セキュリティセミナー講師派遣のパンフレットを東北6県の市及び仙台特別区宛に送付し、協会の宣伝を行った。

「システム監査人協会東北支部設立で思うこと」

No.1241 田口 三郎

私は設立時から東北支部の末席に参加させて頂きました。

設立当時はまだユーザー企業に勤務しておりましたが、そこでの情報処理関係の情報交換は、所属企業の同じ業態間又はシステムにかかわるメーカーの集まりが大部分で、狭い範囲のものでした。一方システム監査人協会東北支部ではさまざまな業態、メーカー系の方との情報交換と交流が出来、大変新鮮で有意義なものでした。この間システム監査(システム監査的)に2回参加出来ました。これは当時の鈴木支部長のご尽力が大きいのですが、システム監査についての関心が幾分か出てきたものと思います。

システム監査の普及はなかなか大変と思いますが、法的な裏付けがない仕組みが世の中に定着するには、紆余曲折を経て長い時間がかかると思います。あせらずに着実に活動を進めていきましょう。

情報システムは現実には社会の重要なインフラとなっていますので、システムの正常な運用には何らかの担保が必要なことは明白ですので、システム監査の重要性はかならず認識されると思います。

平成 19 年事業

2007

1. 平成 19 年度東北支部総会 1 月 27 日(土)

於：仙台市情報・産業プラザ 特別会議室 (アエル)

(出席 16 名、委任状 14 名：会員 37 名)

【議題】 報告事項 1 平成 18 年度事業活動

報告事項 2 平成 18 年度収支報告

第 1 号議案 平成 19 年度活動計画

(20 周年記念事業は、本部の方向性を確認後に対応することとした。)

第 2 号議案 平成 19 年度予算計画

(20 周年記念事業の会計は、本部の予算に従い、予算が配布された場合は、別会計で処理することとした。)

第 3 号議案 平成 19 年度役員選任

(支部長：鈴木実、副支部長：高橋典子、佐藤賢一

研究会：小野寺司、舘田あゆみ、高橋壮太

広報：田口三郎(新任)、会計：高橋典子(会計補助担当 櫻谷昭慶)

監事：成田由加里(新任))

2. ITCみやぎ・SAAJ 東北・JSAG 東北ワークショップ 2007 8 月 24 日(金)～25 日(土)

【1 日目】 於：宮城県民会館 6 階 602 会議室

・講演 1 「東北地域における IT 経営の推進について」

(東北経済産業局情報・製造産業課 東北 IT 経営応援隊事務局)

・講演 2 「MISSEC の P マーク審査機関設定

東北地域の IT ベンダーと専門家への期待」

(NEC ソフトウェア東北(株)顧問(前社長) 岡田勝利氏)

・講演 3 「プロアクティブ・リスクマネジメント」

((株)日立東日本ソリューションズ 澤田美樹子氏)

・講演 4 「カキのトレーサビリティの現状と課題」

(石巻専修大学 益満環氏)

・情報交換 各組織の活動状況について

【2 日目】 於：宮城県民会館 4 階 401 会議室

・講演 5 「経営品質向上活動の動向 日立グループコーポレートとしての推進を通じて」

((株)日立製作所経営企画室 細谷淳彦氏)

・講演 6 「IT 業務処理統制の整備について」

(日本システム監査人協会北海道支部副支部長 五十嵐洋介氏)

・講演 7 「システム管理基準(追補版)のガイドライン」

(日本システム監査人協会 松枝憲司氏)

3. 月例会&役員会

【H19年3月例会】 3月24日(土) 於：NECソフトウェア東北 403会議室

・勉強会 『情報システム監査実践マニュアル第2版ー』勉強会

第2部 第1～5章 システム監査実践方法（小林、古村、高橋）

第6章 6.1 データ中心アプローチにおける監査のポイント（横倉）

第6章 6.2 ソフトウェア国際取引における監査のポイント（成田、関口、佐藤）

・議事 1. 連絡、報告（高橋副支部長、他）

【H19年6月例会】 6月9日(土) 於：NECソフトウェア東北 1F会議室

・議事 1. 支部長挨拶と報告（鈴木支部長）

(1). S A A J 設立20周年記念事業企画について

(2). 事例研究会について

(3). 監査基準研究会（新しい研究会）について

(4). 5月末での会費納入状況内部統制について

2. 検討事項

(1). 20周年記念事業（本部案）について

(2). 今年のワークショップについて

(3). 今後の活動について

【H19年7月例会】 7月28日(土) 於：太白区中央市民センター 第2小会議室

・議事 1. 連絡、報告（鈴木支部長、高橋副支部長）

(1) 北海道支部との合同例会について

(2) 事例研究会について

(3) 理事会について

(4) 支部助成金について

2. 8月のワークショップについて

3. 勉強会：進め方について検討

【H19年9月例会】 9月28日(土) 於：山形市 あこや会館 101会議室

・議事 1. 連絡、報告

(1) 理事会報告（鈴木支部長）

(2) その他（高橋副支部長、佐藤副支部長）

2. 検討事項「協会20周年記念講演について」

・勉強会

【H19年11月例会】 11月10日(土) 於：コラッセふくしま 301会議室（3階）

・議事 1. 連絡、報告事項（支部長、副支部長より）

・勉強会 協会月例研究会のビデオ（在庫3題程）を見て討論

【H19年12月役員会】 12月22日(土) 於：(株)IT経営コンサルティング 仙台事務所

・議事 1. 平成20年度総会について

2. 協会20周年記念セミナー開催計画について

4. 「S A A J 北海道支部・東北支部合同研究会」 7月14日(土) 於：札幌Lプラザ研修室
(参加者：鈴木支部長、高橋副支部長、佐藤副支部長)
- ・テーマ 「システム監査人のあり方、J－SOX対応の観点から」
 - ・その他 (同日) J S A G 全国大会に参加

5. 情報交換

- ・隔月毎に開催している月例会（東北南部三県幹事持ち回り）後には懇親会を実施して、各県の状況および会員間での情報交換を行った。また、メーリングリストによる本部情報、支部会員間の連絡および情報交換を実施した。

6. 広報宣伝活動

- ・東北各地のI T C 団体、IT 応援隊組織、みやぎ情報セキュリティマネジメントビジネス研究会などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

「これまでの支部活動について思うこと」

No. 1134 高橋 壮太

これまでの東北支部の活動を振り返って、私にとって最も印象に残っていることは、平成16年の支部総会で当時副支部長だった高橋前支部長に、総会開始5分前位に研究会担当を命じられたことです。それからというもの、役員としての使命感(?)からか、各行事への出席率だけはそれなりに貢献できていたように感じます。

また、月例会での研究会活動で最も印象に残っているのは、平成18年から19年にかけて行われた「情報システム監査実践マニュアル」(通称赤本)の勉強会です。当時は、毎回2つくらいづつの章を各担当者が要約して発表し、その後に質疑応答を行って、システム監査についての全体的な理解を深めていきました。

さらに、会員相互の交流という面では、やはり寒河江でのそば打ちは外すことが出来ないと思います。振り返ってみると、東北支部のこれまでの活動は、それなりにバランスのとれた充実したものだったと感じています。



平成 20 年事業

2008

1. 平成 20 年度東北支部総会 1 月 26 日(土) 於：仙台市中央市民センター 第一セミナー室 (A)
(出席 15 名、名委任状提出 13 名：会員数 37 名)

【議題】 報告事項 1 平成 19 年度事業活動

報告事項 2 平成 19 年度収支報告

第 1 号議案 平成 20 年度活動計画

第 2 号議案 平成 20 年度予算計画

第 3 号議案 平成 20 年度役員選任

(支部長：高橋典子、 副支部長：佐藤賢一、田口三郎、

会計：佐藤雅英、 研究会担当：高橋壮太、小野寺司、舘田あゆみ、

広報：櫻谷昭慶、横倉正教 監事：成田由加里、 顧問：鈴木実)

【セミナー】

2. S A A J 設立 20 周年記念事業 10 月 25 日(土) 於：ハーネル仙台 4 F 「青葉」

- ・日本システム監査人協会(SAAJ)創立 20 周年記念講演会(東北開催)を開催され、約 40 名の参加者があり、盛会のうちに終了した。今回の講演会では、「システム監査人のこれからの 10 年」のテーマで、これまでの活動状況や普及・定着への推進、そしてこれからの活動についての講演や質疑応答が行われ、有意義な講演であった。



堀江先生による講演の様子

- ・テーマ 「システム監査人これからの 10 年」

【次第】

- ・開会挨拶 (日本システム監査人協会 東北支部長 高橋典子氏)
- ・活動報告 「支部活動からみたシステム監査人の育成」
(日本システム監査人協会 九州支部長 福田啓二氏)
- ・特別講演 「システム監査、普及から定着への推進力」
(日本大学商学部・大学院商学研究科教授 堀江正之氏)
- ・講演 1 「会計監査の最新動向～システム監査への期待」
(東北大学会計大学院 准教授 成田由加里氏)
- ・講演 2 「システム監査、これからの 10 年」
(日本システム監査人協会 副会長 小野 修一氏)
- ・会長挨拶 (日本システム監査人協会 会長 鈴木 信夫氏)
- ・閉会挨拶

3. 月例会&役員会

【H20年3月例会】 3月8日(土)

於：(株)IT経営コンサルティング NAViSビル事務所

- ・議題：1. 高橋支部長挨拶
- 2. 本部定時総会の報告
- 3. 20周年事業関係
- 4. 情報処理技術者新試験制度の説明について（配布資料）
- 5. 今後の進め方
- ・講演 「東北支部の歴史」（鈴木顧問）

【H20年5月例会】 5月24日(土) 於：NECソフトウェア東北ビル 403会議室

- ・議題 1. 20周年記念講演会について
- 2. 本部情報
- ・勉強会 「IT統制監査実践マニュアル」 第1回 勉強会
- 第1部 第1章 （高橋典）
- 第2章 （佐藤賢）
- 第3章 （舘田）

【H20年7月例会】 7月12日(土) 於：コラッセ福島 301会議室

- ・議題 1. 20周年記念講演会について
- 2. 本部情報
- ・勉強会 「IT統制監査実践マニュアル」 第2回 勉強会
- 第1部 第4章-1 （小野寺）
- 第4章-2 （佐藤雅英）
- 第4章-3 （田口）
- 第4章-1 （星野）

【H20年9月例会】 9月20日(土)

於：(株)IT経営コンサルティング NAViSビル事務所

- ・議題 1. 20周年記念講演会について
- 2. 本部情報
- ・勉強会 「IT統制監査実践マニュアル」 第3回 勉強会
- 第1部 第5章 （高橋壮太）

【H20年11月例会】 11月29日(土) 於：山形市 文翔館 会議室

※例会に先駆けて、午前中にそば打ち体験も実施

（於：寒河江市 古澤酒造 そば打ち所「紅葉庵」）

- ・議題 1. 20周年記念講演会報告
- 2. 本部情報
- ・勉強会 「IT統制監査実践マニュアル」 第4回 勉強会
- 第2部 第1章 （横倉）
- 第2章 （櫻谷）
- 事例関連 （市川）

【H20年12月役員会】 12月20日(土)

於：(株)IT経営コンサルティング NAV i Sビル事務所

- ・議題 1. 第7回総会運営
- 2. 第7回総会時の講演
- 3. 本部への報告事項

4. 広報宣伝活動

- ・S A A J 設立20周年記念事業を通して、東北各地のITC組織、日本システムアナリスト協会東北支部、東北経済産業局、東北IT経営応援隊などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

「東北支部の活動にふれて」

No. 693 福田 啓二（九州支部）

各支部の月例会などに何度か参加させて頂いていますが、支部ごとにカラーがありますね。一言でいうと、東北支部の方は温かいですね。しかも「妙に」という形容詞がつくくらい。一度参加させて頂くと、2回目からはほとんど支部の一員になったような感覚になります。それだけ、みなさん仲がよくて、活動も活発で～外からふらっと参加しても、気持ちよく迎えて頂いて～そんな中で楽しみながら切磋琢磨されているのがよくわかります。そうやって、自然に月例会や合宿に何度も参加させて頂きました。

かつて、九州支部10周年のとき「外から見た九州支部」というテーマで寄稿して頂きました。同じことを自身が書いているのが不思議な気分ではありますが、東北支部のみなさま、10周年おめでとうございます。次の10年、より一層の活動と情報発信を期待しております。

「”儲かるためのシステム監査”を普及させましょう！」

No. 1600 佐藤 雅英

第185回月例研究会(テーマ:「システム監査の実践的な進め方」)には参加できませんでしたが、資料を拝見して思ったことがあります。システム監査を普及させるためには、監査目的を法令やルールへの準拠性ではなく、被監査組織の利益獲得への貢献とし、広めて行くことも1つの方策ではないかということです。監査目的を準拠性ではなく、有効性・効率性とすることでビジネス目標の達成に役立つことができれば、システム監査が業務改善、業務改革につながるのではないのでしょうか。つまり、システム監査を実施することで売上・利益の拡大、コスト削減、顧客満足度の向上を実現することができることとなります。また、監査目的を有効性・効率性とした場合、リスクアプローチではなく、目的アプローチで監査することが重要だと思いました。

経営者が関心を持つ新しいシステム監査のスキームを構築し、「儲かるためのシステム監査」を普及させて行きたいものです。

平成 2 1 年事業

2009

1. 平成 2 1 年度東北支部総会 1 月 17 日(土) 於：仙台市 エルソーラ仙台 研修室 1
(出席 1 3 名、委任状提出 1 3 名：会員数 3 8 名)

【議題】 報告事項 1 平成 2 0 年度事業活動
報告事項 2 平成 2 0 年度収支報告
第 1 号議案 平成 2 1 年度活動計画
第 2 号議案 平成 2 1 年度予算計画
第 3 号議案 平成 2 1 年度役員選任

(支部長：高橋典子 副支部長：佐藤賢一、田口三郎
会計：佐藤雅英 研究会担当：高橋壮太、小野寺司、舘田あゆみ
広報担当：櫻谷昭慶、横倉正教
監事担当：成田由加里 顧問：鈴木実)

【勉強会】

・ネットコンピューティングアライアンス会長・津田邦和氏著書「ブロードバンド S a a S が
つくる新市場」を参考に、出席者による「S a a S とシステム S a a S とシステム監査」と
いうテーマでの意見交換を実施した。

2. I T C みやぎ・S A A J 東北、J S A G 東北ワークショップ 2 0 0 9

10 月 24 日(土) 於：仙台市戦災復興記念館 大会議室



・当支部が主催した内容は以下のとおりです。

【次第】

- 講演 1 「中小企業経営者が求めるもの」
((株) 日本政策金融公庫支店長兼中小企業事業統轄 田部貴夫氏)
講演 2 「内部統制報告制度における IT 統制の評価・監査を終えて」
(日本システム監査人協会理事 遠藤誠氏)

3. 月例会&役員会

【3月例会】 3月7日(土) 於：福島市 コラッセ福島 302A会議室

- ・議題 1. 連絡、報告（鈴木顧問、田口副支部長）
- 2. 本部定時総会の報告（佐藤）
- ・勉強会 「IT 統制監査実践マニュアル」 第5回 勉強会
 - 第2部 第3章 （担当：原）
 - 第4章 （担当：今野）
 - 第5章 （担当：関口）

【5月例会】 5月23日(土) 於：仙台市 アエル 28階 エル・ソーラ仙台 研修室2

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. 本部情報（鈴木顧問）
- ・勉強会 「J－S a a S勉強会」
 - ①基本事項の解説／説明
 - ②現在のJ－S a a Sの状況
 - ③今後の普及への意見交換

【7月例会】 7月18日(土) 於：仙台市 AER 情報・産業プラザ 特別会議室

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. 9月の山形合宿セミナーについて
- ・勉強会 「クラウドコンピューティングに関する情報交換」

【9月：東北支部システム監査入門セミナー】 9月12日(土)

於：寒河江市 ホテルサンチェリー

<テーマ>：

「なぜ？ そのコンピューターは動かないのか
システムの事故・障害、起きる仕組みと防ぐ仕組み」

<事例から学ぶシステム監査の役割>

事例発表セミナー in 寒河江

事例1：大手電機メーカーの受発注・物流システムの障害

事例2：医療機器メーカーの統合システム構築工程の障害

（日本システム監査人協会 矢島利夫氏・大西智氏）



<会員交流会>

セミナー翌日、会員交流会として、そば打ちを実施し、お互いに親睦を深めた。

（寒河江市 古澤酒造

そば打ち処 紅葉庵）



【11月例会】 11月21日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 研修会議室

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. ワークショップ報告
- 3. 支部総会について

・勉強会 「J-SaaSについて」

J-SaaSの利用規約をもとに、ユーザがSaaS/ASP事業者を選定する場合の留意事項について検討

【12月役員会】 12月19日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 研修会議室

- ・議題 1. 支部総会について
- 2. 支部総会時の講演について
- 3. 本部への報告事項について

4. 広報宣伝活動

- ・システム監査入門コース in 寒河江（9月12日）やITCみやぎ・SAAJ東北・JSAG東北ワークショップ（10月23日・24日）を通して、一般参加者、東北各地のITC組織、日本システムアナリスト協会東北支部、東北経済産業局、東北IT経営応援隊などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。
- ・なお、システム監査入門コース in 寒河江においては、山形新聞にセミナー案内をアプローチし、後日、新聞に掲載されている。

「システム監査技術者の効能」

No.1509 櫻谷 昭慶

7度目の挑戦でシステム監査技術者に合格して、さらに勉強の場としてSAAJに入会しました。すぐに東北支部から連絡をいただき、初めて支部の例会に参加したのが2005年です。何年も前に合格した方や公認システム監査人の中で、とても緊張していたのを覚えています。ちょうど、普及サービスの1社が終わり、そのことも取り上げられ中身の濃い討論でした。

自分の仕事上はSEから総務部門に移る時期と重なり、PマークやISO品質マネジメント審査、親会社からの内部統制監査など被監査だらけの日々を過ごしておりました。例会や山形寒河江セミナーでは、そういったテーマをシステム監査視点から取り上げられました。そこに参加する中で「(監査は)何のために」を常に問いかける行動様式を身に着けることができました。

周りを見れば、監査・・といいながら、ほんの1,2人の被監査部門を相手に「監査人」が〇×をつけているだけの「監査」がいまだに横行しています。他方で問題のある情報システム＝動かないコンピュータの話や、「業務改善が進まない」の声も聞きます。東北ではシステム監査を有効に取り入れる組織はまだ少ない。でも、ここはもっと長い目で見たいところです。

生き物の命と健康を担う医者の世界では「ヒポクラテスの誓い」があるそうですが、それに比べると、どんどん生き物に近づいてゆく情報システムの健全さを預かる監査技術者がプロフェッショナルとして認められるにはもっと歴史が必要なのではないでしょうか。

平成 2 2 年事業

2010

1. 平成 2 2 年度東北支部総会 1 月 15 日(土) 於：仙台市 エルソーラ仙台 研修室 1 (出席 1 3 名、委任状提出 1 3 名：会員数 3 8 名)

- ・ 議案 報告事項 1 平成 2 1 年度事業活動
- 報告事項 2 平成 2 1 年度収支報告
- 第 1 号議案 平成 2 2 年度活動計画
- 第 2 号議案 平成 2 2 年度予算計画
- 第 3 号議案 平成 2 2 年度役員選任

(支部長：高橋典子

副支部長：佐藤賢一、田口三郎

会計：佐藤雅英

研究会：高橋壮太、小野寺司、舘田あゆみ

広報：櫻谷昭慶、横倉正教

監事：成田由加里

顧問：鈴木実)

- ・ 勉強会：総会の議事終了後、安藤秀樹氏をお招きして、「BABOK」についての講演&意見交換会を実施した。

2. ITCみやぎ・SAAJ東北、JSAG東北ワークショップ2010

10 月 9 日(土) 於：(株)日立東日本ソリューションズ 6 階会議室

【次第】

- ・ 講演 1 「組織人を幸せにするマネジメントシステムと監査人の役割」
(Eye Beyond 代表 桜井由美子氏)
- ・ 特別講演 「ITC 中部様による特別セッション」
 - 1. 「明治政府の戦略マップ」 (ITC 中部 池山昭夫氏)
 - 2. 「iPhone と AR (拡張現実)」 (ITC 中部 小笠原直樹氏)
- ・ 講演 2 「クラウドサービスと情報システム監査」
(NPO 法人日本セキュリティ監査協会事務局長 永宮直史氏)
- ・ 講演 3 「秋田県の事例にみる IT 改革と今後の方向性」
(秋田県企画振興部情報企画課 IT 改革推進監 伊藤良輝氏)



3. 月例会&役員会

【3月例会】 3月6日(土) 於：福島市 コラッセ福島 5F 研修室A

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. 本部定時総会の報告（高橋支部長）
- ・勉強会 「今年度の実施方針について」（鈴木顧問に講師をお願いし、システム監査の手順や内容を演習形式で学習していくことになった。）

【4月例会】 4月17日(土) 於：仙台市 アエル エル・ソーラ仙台 研修室2

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. 山形合宿について
- ・勉強会 「システム監査勉強会」 第1回
 - ・進め方・チーム編成の決定
 - ・課題演習（トピックインタビュー準備）

【6月 山形合宿】 6月26日(土) 於：山形県寒河江市 ホテルサンチェリー

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- ・勉強会 「組織のためになるマネジメントシステムはどうあるべきか」
（日本システム監査人協会 桜井由美子氏）
- ・会員交流：セミナー翌日、会員交流会として、さくらんぼ狩りを実施し、お互いに親睦を深めた。

【8月例会】 8月21日(土) 於：(株)富士通東北システムズ 研修会議室

- ・議題 1. 連絡、報告（高橋支部長 他）
- 2. ワークショップについて
- ・勉強会 「システム監査勉強会」 第2回
 - ・システム監査概説（鈴木顧問に、システム監査の計画～報告までの流れにおける基本事項を解説いただいた。）

【11月役員会】 11月2日(火) 於：ホテルJALシティ

- ・議題 1. 支部総会議事について
- 2. 支部総会時の講演について

「SAAJ東北支部に参加して」

No. 1321 小野寺 司

SAAJに参加したきっかけは、2001年にITコーディネータを取得したことでした。2003年に仙台で「システム監査人補」の特認制度による講習会が行われることを知り、早速申し込んだ記憶があります。（いまだに監査人補ですが...）当時の私は、ITCでもSAAJでも会合に行くと若年層だったのですが、今では見る影もありません。

東北支部では宮城、福島、山形での月例会を実施しておりますが、やはり印象深いのは山形での合宿です。現横倉支部長のご尽力もあり、温泉宿での研修に加え、そば打ちやサクランボ狩りなどイベントも行われ、遠方からの参加者も毎回おられます。研修も有意義なのですが、やはりメインイベントは懇親会ですね。毎回3次会まで流れ、第一回ミス寒河江のママの店などは定番になりつつあります。皆さんの素顔を覗くことができ、毎回非常に楽しく参加させていただいてます。

私にとっては、普段仕事関係でしか作れない人的ネットワークに、別のネットワークを加えた様な広がりを感じております。中々若手が増えず、みんなで仲良く年齢を重ねている感じがちょっと寂しいですが。

平成 2 3 年事業

2011

平成 2 3 年 3 月 1 1 日に発生した東日本大震災により 5 月末まで活動を休止した。

1. 平成 2 3 年度東北支部総会 平成 22 年 12 月 18 日(土)

於：仙台市 エルソーラ仙台 大研修室

(出席 1 2 名、委任状提出 2 3 名：会員数 3 5 名)

【議題】 報告事項 1 平成 2 2 年度事業活動

報告事項 2 平成 2 2 年度収支報告

第 1 号議案 平成 2 3 年度活動計画 (案)

第 2 号議案 平成 2 3 年度予算計画 (案)

第 3 号議案 平成 2 3 年度役員選任 (案)

(支部長：高橋典子 副支部長：佐藤賢一、横倉正教 (役職変更))

会計：佐藤雅英 研究会：高橋壮太、小野寺司、小野寺学 (信任)

広報：櫻谷昭慶、舘田あゆみ (役職変更) 監事：成田由加里

顧問：鈴木実)

【フリーディスカッション】 支部活動の今後のあり方について

【講演会】 「パソコンのリサイクルと情報セキュリティ」

((株)東北 3 R システムズ 漆畑英司氏)

2. ワークショップ 10 月 22 日(土) 於：仙台市青年文化センター エッグ・ホール

・講演 1 「ご挨拶と経済産業省の施策説明」

(東北経済産業局 情報産業支援室長補佐 村田久明氏)

・講演 2 「オンリーワンのものづくりを可能にする原点思考と技術管理システム」

(本田技研工業株式会社 社友 (元常務取締役) 石津谷彰氏)

・講演 3 「医療情報システムの安全管理のための 3 制度について」

～医療情報の利活用のために何をすべきか！～

(一般財団法人医療情報システム開発センター

医療情報安全管理推進部 部長 相澤直行氏)

・講演 4 「マーケティングコミュニケーションの視点で考える

ネット通販における広告表示コンプライアンスと震災への取り組み」

((株)フィデス 代表取締役 久保京子氏)

・講演 5 「I T で日本を元気に！」

(トライポッドワークス(株) 代表取締役社長 佐々木賢一氏)



3. 月例会&役員会

【2月例会】 2月5日(土) 於：仙台市内

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 研究会
 - ・今年度の活動予定について
 - ・第1回スプレッドシート統制研究会

【4月例会】

- ・当初、4月16日(土)に、福島市開催予定であったが、東日本大震災の影響を受け中止

【6月 山形合宿】 6月25日(土)～6月26日(日) 於：寒河江市 ホテルサンチェリー 他

【1日目】

1. 会員交流：そば打ち体験 (於：そば打ち処 紅葉庵)
2. 連絡事項
3. 研究会
 - ①. ディベート演習 (マネジメント信仰が会社を滅ぼす?)

【2日目】

3. 研究会
 - ②. 震災を受けて一体験からのBCP
4. 会員交流：さくらんぼ狩り (有志のみ)

(於：寒河江市内のさくらんぼ園)

【8月例会】 8月20日(土) 於：仙台市内

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. ワークショップについて
- 3. 研究会
 - ・システム監査シミュレーション



【11月役員会】 11月2日(水) 於：仙台市内

- ・議題：1. 総会議案書の検討
- 2. 総会案内(講演内容を含む)の検討

4. 広報宣伝活動

- ・ITCみやぎ・SAAJ東北・JSAG東北ワークショップ(10月8日・9日)の案内を協会ホームページに掲載し、一連の取り組みを通して、一般の参加者、東北各県のITC組織、日本ITストラテジスト協会東北支部などに対して、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

また、4月18日(日)の情報処理技術者試験の会場である日大工学部(郡山)と東北文化学園大学(仙台)において、受験者に対し入会勧誘用の「合格祈願」チラシを合計300枚配布した。会場配布の効果があったのかどうかかわからないが、仙台での合格率が例年と比べ、飛躍的に伸びていた。

平成 2 4 年事業

2012

1. 平成 2 4 年東北支部総会 平成 23 年 12 月 17 日(土)

於：仙台市 情報産業プラザ 情報化研修室

(出席 1 1 名、委任状提出 2 5 名：会員数 3 6 名)

・議案 報告事項 1 平成 2 3 年度事業活動

報告事項 2 平成 2 3 年度収支報告

第 1 号議案 平成 2 4 年度活動計画 (案)

第 2 号議案 平成 2 4 年度予算計画 (案)

第 3 号議案 平成 2 4 年度役員選任 (案)

(支部長：高橋典子 副支部長：佐藤賢一、横倉正教 会計：佐藤雅英

研究会担当：高橋壮太、小野寺司、小野寺學

広報担当：櫻谷昭慶、舘田あゆみ 監事：成田由加里 顧問：鈴木実)

・講演会

「I T に対応した監査手続事例～事例で学ぶよくわかる I T に対応した監査
～日本公認会計士協会 I T 委員会研究報告第 40 号～」

(中村公認会計士事務所 公認会計士 中村元彦氏)

2. ワークショップ 11 月 24 日(土) 於：仙台市情報産業プラザ 2 (B)

【カリキュラム】

・講演 1 「ご挨拶と経済産業省の施策説明」

(東北経済産業局 情報・製造産業課 係長 岩本裕司氏)

・講演 2 「T R I Z を使ったビジネス問題の解決法」

(N B J コンサルティング(株) 代表取締役社長 本田秀行氏)

・講演 3 「I T 活用による経営課題解決手法」

～経営戦略から I T 調達・導入プロセスに至る

I T 経営展開の実務と応用～

(ブリッジ・リサーチ&コンサルティング合同会社

代表社員 阿部満氏)

・講演 4 「S A A J の現況とシステム監査について思うこと」

(日本システム監査人協会 会長 沼野伸生氏)

・講演 5 「知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて」

～『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』の取組み～

((有) F I E L D A N D N E T W O R K 取締役 大草芳江氏)



3. 月例会&役員会

【2月例会】 2月11日(土) 於：仙台市 情報産業プラザ(1) A

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 今年度の活動テーマ検討(研究会)
 - ・2月：IT-BCP
 - ・4月：「スマートフォン・クラウドセキュリティ研究会」の
中間報告の公表
 - ・6月合宿(2日目)：
 - Video 視聴「サイバー犯罪の現状と警察の取組」
 - ・8月：IT監査ビジネスを考えてみる(ディスカッション)
- 3. 下記テーマの検討
 - ・IT-BCP について

【緊急役員会】 4月14日(土) 於：コラッセふくしま 302A会議室

- ・4月例会開催の前に行った。
- ・議事：1. 高橋支部長の東京転勤に伴う業務の代行について

【4月例会】 4月14日(土) 於：コラッセふくしま 302A会議室

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 山形合宿について
- 3. ワークショップについて

【6月 山形合宿】 6月23日(土)

於：寒河江市 ホテルサンチェリー 他

【1日目】

1. 会員交流：そば打ち体験 (於：そば打ち処 紅葉庵)
2. 連絡事項
3. 研究会

研修1「講演『システム監査法制化研究会の提言』(田淵隆明氏)」

研修2「システム監査法制化についての意見交換」

4. ワークショップについて

【2日目】

5. 研究会

研修3「スマートフォン・クラウドのセキュリティについての意見交換」



【8月例会】 8月25日(土) 於：エル・ソーラ仙台 研修室 A E R 2 8 階

議事：1. 連絡事項

2. ワークショップについて

3. 「スマートフォン&タブレットの業務利用に関するセキュリティガイドライン」関連の情報共有

【11月役員会】 11月22日(金) 於：仙台市内 会議室

議事：1. 総会議案書の検討

2. 総会案内（講演内容を含む）の検討

4. 広報宣伝活動

- ・ I T C みやぎ・S A A J 東北・J I S T A 東北ワークショップにおいて、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。
- ・ 沼野会長の講演の際に、ビデオを放映した。

「戦略は細部に宿る ～似て非なるものの見分け方が重要～」

公認システム監査人・IFRS コンサルタント 田淵 隆明 （近畿支部）

我が国では「ミクロからマクロ」か「マクロからミクロ」かの優劣議論が続き「似て非なるもの」の峻別が等閑になってきたと思われるが、この峻別は非常に重要である。

TPP の論点の一つである ISD 条項もその典型である。経産省・推進派は日本型を念頭に「安全論」を説き、反対派は NAFTA での運用例を元に「悪用の危険」を説く。実は日本型と NAFTA 型(米韓 FTA はこちら)は「似て非なるもの」であるが、このことは殆ど知られていない。

- ・ 日本型では、提訴先の国際機関は米国の影響下の世銀傘下の ICSID に限られず、UNCITRAL、WTO の機関も使える。米国政府/州政府が敗訴する可能性がある。
- ・ 日本型では裁判管轄権が協議事項であり、紛争解決の国際機関への付託は当事国の同意が必要あるが、NAFTA 型には「事前包括同意条項」があり、国内裁判権を放棄している。

我が国が過去に ISD で提訴されたことが無いことも、NAFTA で ISD が濫用・悪用されたことも当然である。システム監査においても、この「似て非なるもの」を峻別する力量を磨くことが重要である。

平成 2 5 年事業

2013

1. 平成 2 5 年東北支部総会 平成 24 年 12 月 15 日(土)

於：仙台市 情報産業プラザ 情報化研修室

(出席 1 1 名、委任状提出 2 5 名：会員数 3 6 名)

・議案 報告事項 1 平成 2 4 年度事業活動

報告事項 2 平成 2 4 年度収支報告

第 1 号議案 平成 2 5 年度活動計画 (案)

第 2 号議案 平成 2 5 年度予算計画 (案)

第 3 号議案 平成 2 5 年度役員選任 (案)

(支部長：横倉正教 副支部長：高橋壮太 会計：佐藤雅英

研究会担当：小野寺司、小野寺学 広報担当：櫻谷昭慶、舘田あゆみ

監事：成田由加里 顧問：鈴木実)

2. I T C みやぎ・S A A J 東北・J I S T A 東北ワークショップ 10 月 26 日(土)

於：(株)日立ソリューションズ東日本 6 階会議室

【カリキュラム】

・講演 1 「ご挨拶と経済産業省の施策説明」

(東北経済産業局 情報・製造産業課 課長 渡邊善夫氏)

・講演 2 「情報セキュリティと法律」

(東北大学大学院法学部研究科 准教授 金谷吉成氏)

・講演 3 「I T C に要求されるプロジェクト・マネジメント力」

(ホビット・コンサルティング 代表取締役 久保山祐児氏)

・講演 4 「CFC が提案する被災地の子どもたちへの教育支援制度」

～学校外教育バウチャー制度の成果と課題～

((社)チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 雑賀雄太氏)

・特別講演 「自然言語処理から見たビッグデータの可能性」

(東北大学大学院情報科学研究科 教授 乾健太郎氏)



3. 月例会&役員会

【2月例会】 2月2日(土) 於：仙台市シルバーセンター 5階会議室

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 年間活動計画について
 - ・月例会での分掌
 - ・ワークショップ&合宿
- 3. 研究会
 - ・本年度のテーマ：マネージドホスティングサービス
 - 1) どのようなものか
 - 2) どのようなリスクがかんがえられるか
 - 3) どのように監査するか

【4月例会】 4月13日(土) 於：コラッセふくしま 303B

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 東北支部10周年記念事業について
 - ・システム監査実践セミナー(11月)
 - ・支部総会記念講演(12月)
 - ・記念誌製作
- 2. ワークショップについて
- 3. 合宿について(>記念事業を行うので実施しない)
- 4. 研究会 「マネージドホスティングサービス(MHS)とは」

【6月例会】 6月29日(土) 於：山形市 山形テルサ 交流室B

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 東北支部10周年記念事業(システム監査実践セミナー)について
- 3. 東北支部10周年記念事業(記念誌製作)について
- 4. ワークショップについて(10月開催予定)
- 5. 研究会 「マネージドホスティングサービス(MHS)における
リスク(留意点)とは」

【8月例会】 8月24日(土) 於：仙台市 戦災復興記念館 4階第5会議室

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. JISTA 東北・SAAJ 東北・ITC みやぎ合同ワークショップについて
- 3. 東北支部10周年記念事業(システム監査実践セミナー)について
- 4. 東北支部10周年記念事業(記念誌製作)について
- 5. 研究会 「マネージドホスティングサービス(MHS)の監査方法について」

【10月例会】 10月19日(土) 於：仙台市 仙台MTビル 会議室

- ・議事：1. 連絡事項
- 2. 東北支部10周年記念事業(システム監査実践セミナー)について
- 3. 東北支部10周年記念事業(記念誌製作)について
- 4. 研究会 「マネージドホスティングサービス(MHS)における監査
(まとめ)」

【11月役員会】 11月8日(金) 於：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）
ミーティングルーム2

- 議事：1. 総会について
（総会議案書、案内、講演会）
2. 東北支部設立10周年記念事業について
（システム監査実践セミナー、記念誌の製作）

4. 広報宣伝活動

- ・ I T C みやぎ・S A A J 東北・J I S T A 東北ワークショップにおいて、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

「10年の歳月」

No.1262 佐藤 賢一

公認システム監査人の資格を資格取得してからあつという間の10年。常に継続学習はクリアし資格更新しているものの、システム監査をビジネスに活かす場としては、本当に指で数えるくらいしか実践していない。東北地域にはニーズはないのか、それとも当社での営業が下手なのか。将来を見据えても悩むところである。東北支部で開催された仙台市、福島市、山形市での月例会や寒河江市での合宿などに積極的に参加してスキルアップを図り、常にスタンバイOKの状態ではあったのだから・・・。

東北支部は、自己研鑽する場として有意義な場ではあるのだが、なかなかそれをビジネスに活かすことができない。そういうジレンマがここ数年続いている。今後、自分としてどのような活動を展開していけばよいのか、私自身、意識革新しなければならない節目の時期にきていると思う。しかしながら自分だけでビジネスを広げていくのには限界がある。そのような状況を打破するためにも、今後10年以内には、東北支部に在籍する会社勤めの方々のうち何人かは退職される時期に来るものと思うので、その方々と連携して新たなビジネスを展開するための方策を検討していく必要があると思っている今日この頃です。



資 料

「特定非営利活動法人日本システム監査人協会 東北支部規定」

制定 平成15年 6月28日

改定 平成24年12月15日

第1条（目 的）

この法人は、システム監査を社会一般に普及せしめると共に、システム監査人の育成、認定、監査技法の維持・向上をはかり、よって、健全な情報化社会の発展に寄与することを目的とする。

東北支部は、上記目的を実現するために福島県、宮城県、山形県、岩手県、秋田県、青森県を活動範囲とする。

第2条（名 称）

この法人は、特定非営利活動法人日本システム監査人協会東北支部という。

第3条（所在地）

事務局は「特定非営利活動法人日本システム監査人協会本部」に置く。

第4条（会 員）

この法人の会員は、正会員をもって特定非営利活動促進法上の社員とする。

なお、東北支部の会員は東北支部の地域に主たる住所を有するか、該当地域で仕事に従事している者をもって構成する。但し、特段の理由のあるものは支部会員からはずれることができる。

第5条（役 員）

支部長、副支部長、会計、監事、その他必要な役員は支部総会で選任する。

第6条（役員の任期）

役員の任期は1年とする。

第7条（支部長）

支部長は協会を代表して支部を運営する。なお、副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故ある時は、緊急役員会の承認を得て、支部長業務を代行して支部を運営することができる。その際、遅滞なく、支部会員に通知するものとする。

第8条（総 会）

年1回総会を東北支部のいずれかの県で開催し、時期は12月とする。また、この会の重要事項について審議し、議事は出席者（委任状含む）の過半数の同意をもって決定する。議長は支部長が担当する。支部長が出席できない場合は、副支部長が議長を代行する。

第9条（会 費）

東北支部運営のための会費は徴収しない。東北支部運営は、協会本部が東北支部に交付する支部助成金にて賄う。

第10条（規約の改正）

この規約は会員の半数の同意をもって改定する。

**SAAJ
東北支部
設立
10周年**

「SAAJ 東北支部設立10周年記念誌」

2014年（平成26年） 2月20日

NPO 日本システム監査人協会(SAAJ)
東北支部